



成果指標				
成果指標	ブランチにおける総合相談件数と地域包括支援センターにおける総合相談件数の総数を指標とする。			
指標設定の考え方	総合相談件数は高齢者の不安軽減、解消につながるものであるため、相談件数の総数を成果とする。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	2500	2500	2500	0
実績	2460	2228	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	ブランチ・包括支援センターともに相談件数は減少しているが、相談内容が複雑化し対応時間は増えている。適切な介護・保健・医療・福祉サービスの利用に繋がるよう関係機関と連絡・調整を行うことで、福祉の向上に努めた。地域包括ケアシステムの構築に向け、関係機関とのネットワークを強化したり、地域ケア会議を充実させていく必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	相談件数は減少しているものの相談内容がより複雑化しており、介護・保健・医療・福祉等の関係機関が綿密に連携を取り合う必要がある。今後、地域包括ケアシステムを早期に構築していく必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	